

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	48	日々の余暇活動を更に充実させたい。	毎日30分間、レクリエーションを提供・実施する。	・午後のおやつ作りについて、レシピを充実させ、ご利用者とスタッフが一緒に作る。 ・おやつの前後に、体操等を行う。	2ヶ月
2	29	スタッフのケアを更に統一させたい。	ご利用者の心に寄り添った介護をすることができる。	・ご利用者の話を落ち着いて傾聴する。 ・情報収集のためにも、おやつ時間はスタッフもご利用者と一緒にお茶を飲みながらお話をする。	6ヶ月
3	2	近隣の学校等との交流を持ちたい。	学生等が福祉体験学習等で事業所に訪問する機会を設け、施設概要等を理解していただくと共に、事業所が更に地域に開かれた施設となる。	近隣の学校等を訪問し、事業所の概要を説明する。また、授業の一環、学校行事、ボランティア等で、継続的に生徒等が事業所に訪問したり、ご利用者が学校等に訪問することができるよう働きかける。	3ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。